

施策評価シート（対象：R5年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	担当部	● 市民活力推進部		
	節	1	環境にやさしい魅力ある都市型農業づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	地域の特性を活かした様々な産業が発展しています。 付加価値の高い農産物が生産され、市内のみならず市外からも人気を得ています。市民は、市内各地の魅力あふれる店舗で買い物をすることができます。 また、工場が集積しているまちとして発展し、新たな事業も生まれ、働く機会が増えています。 八潮市の財産である水辺環境等が観光に活用され、多くの人が訪れる、にぎわいや活力のあるまちとなっています。	基本目標	農家が付加価値の高い農産物を生産し、農商工連携に取り組むことで、新たな事業を生み出し、販路を拡大しています。また、市民が日頃から市内の農業に親しむとともに、地産地消の考え方が普及し、市内で生産された農産物の消費が拡大しています。
---------------------------------	--	-------------	--

2. 実施結果

成果指標		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 認定農業者数		27人	—	—	—	—	28人	—	—	—	—	30人
		—	43人	43人	43人	43人	43人	47人	47人	47人		
② 直売所利用者数		65,236人	—	—	—	—	72,000人	—	—	—	—	80,000人
		—	76,877人	71,114人	65,352人	65,326人	62,644人	59,673人	62,312人	63,305人		
③ エコファーマー数		26人	—	—	—	—	2箇所	—	—	—	—	3箇所
		—	16人	16人	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所		
④			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										
⑤			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										

施策の内容		R5年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
				順調	概ね順調	遅れ	
1	農業の担い手の育成・確保	6,095	2	0	2	0	都市農業課
2	都市と共生した農業環境の促進	101	1	0	1	0	都市農業課
3	地産地消の推進と農産物のブランド化	4,360	2	0	2	0	都市農業課
4	農地の保全と有効活用の促進	13,617	2	1	1	0	都市農業課
5	農商工連携事業の振興	400	1	0	1	0	都市農業課
6							
7							
8							
9							
10							
計		24,573	8	1	7	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	1	環境にやさしい魅力ある都市型農業づくり	評価者名	田口
評価主体が 推進する 施策の概要	平成30年度に策定した「第2次八潮市都市農業振興基本計画」に基づき、(1) 農業の担い手の育成・確保、(2) 都市と共生した農業環境の促進、(3) 地産地消の推進、農産物のブランド化、(4) 農地の保全と有効活用の促進、(5) 農商工連携事業に取り組む。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)		
	新規就農者を希望する就学生に対し支援を行った。また、新規就農希望者に対して、埼玉県立農業大学等の制度について周知を行った。 市民農園の空き区画整備や農業体験などを実施した。 枝豆ブランドシール作成及び直売所連絡協議会への支援などを実施した。 農業経営基盤強化促進法に基づく利用権等の設定の促進や農地利用の集積化に向けた取組を実施した。 農業祭、枝豆ムーヴオー祭、枝豆大感謝祭等を実施しPRを行った。		
課題	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
	都市農業が中心の本市において、年々、後継者不足による農業者の高齢化や、調整区域内農地の遊休農地化が課題となっており、担い手となる団体や人材の育成・支援に取り組む必要がある。 また、農業に対する魅力や競争力を向上させるため、高収益が期待される農産物の選定や農産物のブランド化などを通じ、地産地消を進める必要がある。 さらに、都市農業における環境保全や農商工連携による6次産業化を進める必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	農業収穫体験を通じて市民の農業に対する理解が深められた。 また、農業祭、枝豆ムーヴオー祭、枝豆大感謝祭などイベントがコロナ禍前に戻り、各種イベントをとおしてPRを実施し、地産地消・市内産業の活性化が図られた。 引き続き、枝豆ブランドシール印刷により八潮産農産物のブランド化の推進が図られるなど、「第2次八潮市都市農業振興基本計画」に基づく各施策が着実に実施されている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	☒ 現状のまま推進 ☐ 見直して推進 ☐ 大幅に見直して推進				
	→ ☐ 重点化(拡充) ☐ 縮小 ☐ その他				
施策の 展開方針	(説明)				
	農業の担い手の育成・確保では、「八潮市明日の農業担い手育成塾」を設置し、新規就農者を確保する。 都市と共生した農業環境の促進では、環境保全型農業の推進に努めるとともに、市民農園の活用や農業収穫体験の実施などにより、市民から信頼され環境にやさしい魅力ある都市農業の確立を目指す。 地産地消の推進では、平成20年度に定めた「八潮の八つ野菜」のPRに努めるとともに、高収益が期待される農産物の選定を検討するなど、さらなる地産地消の推進を図る。 農地の保全と有効活用の促進では、農業経営基盤強化促進法に基づく利用権の設定による未耕作地の活用を図るほか、中川周辺農地について、農業者による話し合いに基づき、地域農業における担い手、将来の在り方等を明確化する「地域計画」を定めて、良好な景観形成と優良農地の保全などを促進する。 農商工連携事業では、枝豆まつりを始めとする農商工連携事業のほか、新たな技術・経営手法の導入や関係団体・機関などとの連携により6次産業化に向けた検討などを進める。				
■重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード			施策の内容	事務事業
	章	節	施策		
1	04	01	01	農業の担い手の育成・確保	農業の担い手育成事業
2	04	01	01	農業の担い手の育成・確保	経営体支援事業
3	04	01	02	都市と共生した農業環境の促進	環境保全型農業推進事業
4	04	01	03	地産地消の推進と農産物のブランド化	地産地消推進事業
5	04	01	05	農商工連携事業の振興	6次産業化促進事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

NO. 1

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】 ☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R5年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	担当部	● 市民活力推進部		
	節	2	魅力あふれる商業づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	地域の特性を活かした様々な産業が発展しています。 付加価値の高い農産物が生産され、市内のみならず市外からも人気を得ています。市民は、市内各地の魅力あふれる店舗で買い物をすることができます。 また、工場が集積しているまちとして発展し、新たな事業も生まれ、働く機会が増えています。 八潮市の財産である水辺環境等が観光に活用され、多くの人が訪れる、にぎわいや活力のあるまちとなっています。	基本目標	市民は、地域に密着した魅力ある店舗が並ぶ商店街で、生活に必要な多くの商品を購入することができます。また、八潮駅周辺を中心とした商業拠点が形成され、たくさんの来訪者が市外からも買い物に訪れています。

2. 実施結果

成果指標		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 八潮駅周辺地区における商店街組織数		0件	—	—	—	—	1件	—	—	—	—	2件
		—	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
② 商店会加盟店数		89店	—	—	—	—	115店	—	—	—	—	130店
		—	78店	76店	73店	68店	59店	61店	61店	51店		
③			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										
④			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										
⑤			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										

施策の内容		R5年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
				順調	概ね順調	遅れ	
1	経営安定化の促進	19,304	3	0	3	0	商工観光課
2	商業環境の整備	561	1	0	1	0	商工観光課
3	中心商業拠点の形成	0	1	0	1	0	商工観光課
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
計		19,865	5	0	5	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	2	魅力あふれる商業づくり	評価者名	田口
評価主体が 推進する 施策の概要	①地域に密着したイベントや販売促進に結びつく各種事業を支援することにより、商店街の活性化等を促進する。 また、個店に対する経営指導の強化と魅力ある個店づくりを促進し、さらに、農商工連携事業に取り組む商業者を支援する。 ②インターネットを活用した商店会情報の提供や空き店舗等を活用した新たな取組を支援し、魅力ある商店街づくりを推進する。 また、本市での商業やサービス業の創業を支援する。 ③八潮駅周辺を中心とする地域において、魅力ある商業拠点の形成を推進する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)		
	①八潮市商工会さくらカード会に対して補助金を交付した。 ②小規模事業者への支援を行う八潮市商工会に対して補助金を交付した。また、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を目的に商工会が令和6年度に実施する「プレミアム付商品券事業」に対して全面的に支援した。 ③インターネットを活用して商店会の情報を提供する「デジタルマップ」を作成した1商店会に対して「商店会活性化推進事業補助金」を交付した。 ④地方創生臨時交付金を活用し、2商店会に対して装飾型街路灯電気料の100%を補助した。		
課題	課題はほとんどない	ある程度課題がある	大きな課題がある
	①大規模小売店舗の進出や消費者の購買形態の変化等が市内の個店の経営に影響を及ぼしており、地域に密着した個店が減少している。また、八潮市商工会が実施している「さくらカード事業」が伸び悩んでいるため、利用者を増やす対策が必要である。 ②商店街活性化推進事業補助金の対象となる活動を行っているのは、1商店会のみであり、既存商店会の賑わいを創出し、商店会を活性化させる工夫が必要である。 ③魅力ある八潮駅周辺商業拠点を形成するため、組織化に向けた取組を推進する必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	①令和5年度は、八潮市商工会と連携し、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を目的に令和6年度に実施する「プレミアム付商品券事業」の準備を支援した。 ②商店会の活性化を図るため「商店会活性化推進事業補助金」を交付した。 ③昨年度に続き「事業承継セミナー」を開催した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）
 ☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	現状のまま推進 ●見直して推進 大幅に見直して推進				
	→ 重点化(拡充) 縮小 ■その他				
施策の 展開方針	(説明)				
	①地域に密着した魅力ある店舗を増加させるため、従来からの支援策である、八潮市商工会さくらカード会への補助等を継続しながら、先進自治体の情報を調査研究し、新たな支援策を展開する。 ②八潮市商工会に必要な補助金を交付し、市内小規模事業者の振興と経営の安定を図る。 ③商店会の活性化については、現状の共同売出しやイベントへの補助金を継続していきながら、地域に密着した魅力ある商店会として活性化していくよう、調査研究を行う。 ④アドバイザーの派遣を実施し、魅力ある店舗づくりや一店逸品運動を促進するとともに、「商業&観光元気UPサイト」でPRを行う。 ⑤駅周辺の魅力と活気ある商業拠点の形成に向け、意向調査を実施し、商店会の組織化のための意識醸成を図るための施策の検討を行う。				
■重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード			施策の内容	事務事業
	章	節	施策		
1	04	02	01	経営安定化の促進	商工団体補助事業
2	04	02	03	中心商業拠点の形成	中心商業拠点の形成事業
3	04	02	02	商業環境の整備	商業支援事業
4	04	02	01	経営安定化の促進	商店街活性化推進事業
5	04	02	01	経営安定化の促進	商業振興事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】 ☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R5年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	担当部	● 市民活力推進部		
	節	3	活力ある工業づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	地域の特性を活かした様々な産業が発展しています。 付加価値の高い農産物が生産され、市内のみならず市外からも人気を得ています。市民は、市内各地の魅力あふれる店舗で買い物をすることができます。 また、工場が集積しているまちとして発展し、新たな事業も生まれ、働く機会が増えています。 八潮市の財産である水辺環境等が観光に活用され、多くの人を訪れる、にぎわいや活力のあるまちとなっています。	基本目標	工業を取り巻く環境が充実するとともに、市内外に誇れる八潮ブランド品が創出され、その結果、市内事業所の受発注が拡大しています。
---------------------------------	--	-------------	--

2. 実施結果

成果指標		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
①	経営革新計画承認件数	47件	—	—	—	—	55件	—	—	—	—	65件
		—	59件	64件	74件	79件	96件	100件	105件	110件		
②	融資あっせん件数	23件	—	—	—	—	62件	—	—	—	—	72件
		—	36件	20件	5件	2件	0件	4件	2件	12件		
③			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										
④			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										
⑤			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										

施策の内容		R5年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
				順調	概ね順調	遅れ	
1	経営近代化の促進	97,149	2	1	1	0	商工観光課
2	工業環境の整備	1,673	2	0	2	0	商工観光課
3	新時代に対応する工業の育成	11,150	2	1	1	0	商工観光課
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
計		109,972	6	2	4	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	3	活力ある工業づくり	評価者名	田口
評価主体が 推進する 施策の概要	①経営近代化の促進として、中小企業の経営の近代化を促進するため、融資制度を充実させる。経営革新と組織の近代化を促進するため、経営指導を行う八潮市商工会等の各種事業と連携した取組を進める。 ②工業環境の整備として、住工混在地域について、生活環境への影響がないよう継続的な操業に向けた取組を推進する。出前講座の工場見学等を通じて、市民に市内工業の理解を促進する。 ③新時代に対応する工業の育成として、新製品の開発や新たな研究に対する支援を行い、新時代に対応する工業を育成する。八潮ブランド認定事業を行う事により、本市の知名度アップと地域の活性化を図る。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	（説明） ①小口融資等の利子補給を行った。また、令和5年分については新型コロナウイルス感染症による影響に対応するための緊急経済対策として、利子補給率を100%とした。（小口20件） ②セーフティーネット保証の認定書の発行を行った。（177件） ③経営革新計画の申請を行う意向のある事業所に専門家を派遣し、経営革新計画承認を目指した。 ④新規創業資金融資利子補給金対象者に対し、利子補給を行った。 ⑤優良技術者及び技能者1人及び八潮ブランド認定品1件を認定した。 ⑥住宅改修資金補助事業を実施した。（104件）		
	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
課題	①経営革新計画認証企業は年々増加しているものの、経営革新計画承認制度についての認知度が低い状況である。 ②平成28年に策定した創業支援事業計画に基づき、より一層新規創業者の支援を充実させていくことが必要である。 ③市域経済の好循環を支える中小企業の成長に必要な住宅改修資金補助事業を継続するため適切な財源の確保が必要である。 ④八潮ブランド認定品を活用した、本市の知名度アップと地域の活性化に繋がる効果的なPR方法を検討する。 ⑤本市は、県内有数の工業都市であるが、様々な要因から事業所数が減少傾向にあり、市内での継続的な操業を支援する必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	①小口資金融資及び近代化資金融資の利子補給率を100%に引き上げ、市内事業者の経営の安定に繋がれた。 ②セーフティーネット保証に必要な認定書の発行を行った。（177件） ③八潮市商工会と連携して創業支援事業計画に基づく事業を実施した。 ④事業承継セミナーを開催した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	現状のまま推進			●見直して推進	大幅に見直して推進		
				→	■重点化(拡充)	□縮小	□その他
施策の 展開方針	(説明)						
	①「八潮市製造業実態調査報告書」によると、八潮市の工業振興施策の中で、「制度融資の充実」の割合が高かったことから、引き続き制度融資の充実を図る。						
	②経営革新計画を策定する意向のある事業者に対して、専門家の派遣を行い、承認件数の増加を目指す。						
	③市内で継続して操業できる環境整備を図るため、工場移転資金利子補給制度を実施する。						
	④市内に立地を希望する事業者への立地可能な土地情報が、市単独では把握が困難であるため、引き続き埼玉県企業立地課との連携を図る。						
	⑤ヒトに焦点をあてた八潮市優良技術者及び技能者表彰制度と、モノに焦点をあてた八潮ブランド認定制度を両輪として、市内外に情報発信することで、八潮市の知名度アップと地域の活性化を図り、販路拡大と受注機会の促進を図る。						
⑥事業承継セミナーについては、八潮市商工会と連携して、効果的な取組を行う。							
■重点事業（部で5事業まで）							
	施策コード			施策の内容	事務事業		
	章	節	施策				
1	04	03	01	経営近代化の促進	中小企業向け制度融資事業		
2	04	03	02	工業環境の整備	工業支援事業		
3	04	03	03	新時代に対応する工業の育成	工業振興事業		
4	04	03	03	新時代に対応する工業の育成	市内生産品等展示事業		
5	04	03	01	経営近代化の促進	経営革新取組企業支援事業		

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

[illegible]

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R5年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	担当部	● 市民活力推進部		
	節	4	水と花にふれあう観光づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	地域の特性を活かした様々な産業が発展しています。付加価値の高い農産物が生産され、市内のみならず市外からも人気を得ています。市民は、市内各地の魅力あふれる店舗で買い物をすることができます。また、工場が集積しているまちとして発展し、新たな事業も生まれ、働く機会が増えています。八潮市の財産である水辺環境等が観光に活用され、多くの人が訪れる、にぎわいや活力のあるまちとなっています。	基本目標	「中川やしおフラワーパーク」と「水辺の楽校」が充実し、安心して気軽に水に親しめる環境が整っています。また、市の花に追加指定された「花桃」を市内各所で観賞することができ、多くの人でにぎわっています。市民や関係団体等がともに協力して、様々な観光イベントを催し、多くの観光客が本市を訪れるようになり、市内での購買額が増加し、産業の振興に役立てられています。

2. 実施結果

成果指標		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 入込観光客数		204千人	—	—	—	—	210千人	—	—	—	—	215千人
		—	235千人	80千人	200千人	186千人	0人	0人	5千人	187千人		
② ものづくりの見学人数		91人	—	—	—	—	250人	—	—	—	—	300人
		—	146人	237人	336人	115人	0人	0人	4人	27人		
③			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										
④			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										
⑤			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										

施策の内容		R5年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
				順調	概ね順調	遅れ	
1	観光の振興	20,730	1	0	1	0	商工観光課
2	産業観光の促進	0	1	0	1	0	商工観光課
3	観光情報の提供	142	1	0	1	0	商工観光課
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
計		20,872	3	0	3	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	4	水と花にふれあう観光づくり	評価者名	田口
評価主体が 推進する 施策の概要	①観光の振興として、（一社）八潮市観光協会等と連携し、水と花をテーマとした観光の充実を支援する。また、八潮夜市等により、駅前の賑わいを創出するとともに、新たな観光資源・観光イベントの創設に取り組む。 ②産業観光の促進として、工場見学等の様々な産業に関する観光資源を活かし、継続的に収益を生み出すことができる観光事業の実施を支援する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	（説明） ①（一社）八潮市観光協会が実施した各種活動の支援を行った。 ②「やしお商業&観光元気UP！サイト」や「デジタルサイネージ（電子看板）」を活用し、イベント情報の発信を行った。 ③包括占用区域内の維持管理のため、必要な経費について補助金を増額した。 ④来園者にフラワーパーク等のルールを掲載したチラシ等を配布し、適切な利用について呼びかけた。 ⑤水辺の楽校に追加整備された「水中歩行路」を活用し、中川やしお子どもの水辺運営協議会の主催の「水辺の楽校秋まつり」が実施された。		
	☐ 課題はほとんどない ☒ ある程度課題がある ☐ 大きな課題がある		
課題	①原油価格・物価高騰等の影響により、イベントの開催における費用の増額が見込まれるため、イベント内容や補助金額を見直し、魅力あるイベントを引き続き開催できるよう検討する必要がある。 ②市の「ものづくり」や地域資源である「やしお駅前公園」などを、観光振興策として活用する必要がある。 ③（一社）八潮市観光協会の組織充実を支援する必要がある。 ④水辺の楽校の日常の管理を担う「中川やしお子どもの水辺運営協議会（事務局は商工観光課）」の安定的な運営を継続する必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	①適切な利用を促すためのチラシ配布や四季折々の草花を植えるなど、水辺の楽校を含めた中川河川敷の包括占用区域の維持管理を充実させた。 ②（一社）八潮市観光協会が実施するイベントの開催を支援した。 ③工場見学の再開により、体験事業の実施ができた。 ④中川やしお子どもの水辺運営協議会が実施するイベントの開催を支援した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	現状のまま推進 見直して推進 大幅に見直して推進				
	重点化(拡充) 縮小 その他				
施策の 展開方針	(説明)				
	①（一社）八潮市観光協会等と連携し、水と花をテーマとした魅力ある観光の充実を支援する。 ②水辺の楽校の運営・管理を中川やしお子どもの水辺運営協議会とともにいき、本市の特徴である「水辺空間」の魅力を高め、観光客数の増加につなげる。 ③八潮夜市等により、駅前の賑わいを創出するとともに、新たな観光資源・観光イベントの創設に取り組む。 ④工場見学をはじめとする様々な産業にまつわる観光資源を活かし、継続的な収益を生み出すことが可能な観光事業の実施を支援する。 ⑤つくばエクスプレス沿線の自治体を含む関係機関と連携を図り、より効果的な観光情報の提供に努める。 ⑥観光情報をインターネット経由で発信するほか、様々な媒体を活用して、市内外に積極的に情報提供する。				
重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード			施策の内容	事務事業
	章	節	施策		
1	04	04	01	観光の振興	観光資源開発事業
2	04	04	03	観光情報の提供	観光情報充実事業
3	04	04	02	産業観光の促進	ものづくり体験見学会実施事業
4					
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】 ☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R5年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	担当部	● 市民活力推進部		
	節	5	いきいきと働ける就業環境づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	地域の特性を活かした様々な産業が発展しています。付加価値の高い農産物が生産され、市内のみならず市外からも人気を得ています。市民は、市内各地の魅力あふれる店舗で買い物をすることができます。また、工場が集積しているまちとして発展し、新たな事業も生まれ、働く機会が増えています。八潮市の財産である水辺環境等が観光に活用され、多くの人を訪れる、にぎわいや活力のあるまちとなっています。	基本目標	様々な労働者が、適切な労働環境のもといきいきと働き、生活を送っています。

2. 実施結果

成果指標		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 中小企業退職金共済加入者数		112人	—	—	—	—	198人	—	—	—	—	212人
		—	128人	133人	146人	193人	168人	208人	211人	206人		
② 若年者職業相談件数		28件	—	—	—	—	29件	—	—	—	—	33件
		—	11件	60件	85件	67件	63件	62件	31件	17件		
③			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										
④			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										
⑤			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										

施策の内容		R5年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
				順調	概ね順調	遅れ	
1	労働福祉の充実	15,149	3	1	2	0	商工観光課
2	就業環境の整備促進	10,434	1	0	1	0	商工観光課
3	労働教育の推進	13	1	0	1	0	商工観光課
4	雇用の安定	214	1	0	1	0	商工観光課
5							
6							
7							
8							
9							
10							
計		25,810	6	1	5	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	5	いきいきと働ける就業環境づくり	評価者名	田口
評価主体が 推進する 施策の概要	①労働問題に関する情報の提供や相談業務の案内等、労働環境の改善に向けた支援を行うとともに、勤労者福祉・スポーツセンターの効率的な運営と施策を充実し、勤労青少年の福祉の増進を促進する。また、中小規模の事業者が行う福利厚生事業を支援する。 ②就業環境の整備として、中小企業退職金共済掛金補助事業及び勤労者住宅資金融資あっせん事業を実施する。 ③労働問題に関する正しい知識や教養を深めることを目的に労働セミナーを開催するとともに、多様な働き方の実現に向けた意識啓発を実施する。 ④雇用の安定を図るため、草加公共職業安定所等と連携して就労情報を提供するとともに、内職相談、若年者雇用定着支援補助事業を実施する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)		
	①勤労者福祉・スポーツセンターの維持管理に努めるとともに、ふるさとハローワーク移転に伴う内装復旧工事を実施した。 ②若年者就労相談を実施し17件の相談があった。 ③中小企業退職金共済掛金補助事業により、33事業所、206人に補助金を交付した。 ④労働セミナーを開催し、9人の参加があった。 ⑤市役所本庁舎や駅前出張所等で求人情報紙を配布した。 ⑥内職相談を実施し39人が就業した。 ⑦八潮市ふるさとハローワークにおいて、自己検索機利用件数が1,577件、新規求職件数が555件、就職件数が287件であった。		
課題	課題はほとんどない	ある程度課題がある	大きな課題がある
	①勤労者福祉・スポーツセンターは、築40年が経過し老朽化が進んでいるが、文化スポーツセンターの代替施設として利用者の増加が見込まれているため、施設改修についてはアセットマネジメントの取組の方向性等を踏まえ対応する必要がある。 ②労働セミナーは、より多くの参加者が集まるテーマを選定する必要がある。 ③若年者雇用定着支援補助制度の活用に向け、ハローワーク草加と連携した継続的なPRを行う必要がある。 ④八潮市ふるさとハローワークのさらなるPRを図り、利用者の増加を図る必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	①中小企業退職金共済掛金補助事業の補助件数が、令和4年度比で206人（5人の減少）であったが、33事業所（1事業所の増加）となり、市内中小企業に働く従業員の福祉の増進と雇用の安定につながった。 ②八潮市ふるさとハローワークについては、令和4年度比では就職件数が287件（1件の増加）となり、就業機会を確保することができた。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進			■ 見直して推進			■ 大幅に見直して推進		
	→ ■ 重点化(拡充)			■ 縮小			■ その他		
施策の 展開方針	(説明)								
	①勤労者福祉・スポーツセンターの修繕については、利用者が安全に使用することができるよう適時実施していくとともに、大規模な施設改修については、アセットマネジメントの取組の方向性等を踏まえ計画的に実施する。								
	②勤労者住宅資金融資制度について、引き続きPRを行い、本制度の利用の促進を図る。								
	③労働セミナーの開催にあたり、興味・関心が高い労働問題等をテーマに選定するとともに、さらなるPRを行い、参加者の増加を図る。また、働くことに関して悩みを抱えている若者及びその家族を対象に、若者サポートステーションの周知をする。								
	④若年者雇用定着支援補助制度の利用を促進するため、引き続き草加公共職業安定所との連携を図る。								
	⑤八潮市ふるさとハローワークの利用増加に向け、各種広報媒体を活用しPRを行う。								
⑥中小企業退職金共済掛金補助事業や内職相談等の労働関係事業を引き続き実施する。									
■重点事業（部で5事業まで）									
	施策コード				施策の内容			事務事業	
	章	節	施策						
1	04	05	01	労働福祉の充実			勤労者福祉・スポーツセンター管理事業		
2	04	05	03	労働教育の推進			労働セミナー開催事業		
3	04	05	01	労働福祉の充実			勤労者福祉・スポーツ推進事業		
4	04	05	04	雇用の安定			雇用安定事業		
5	04	05	01	労働福祉の充実			労働者団体事業費補助事業		

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ